

**事務事業評価 事業説明資料**  
**【冬季観光の充実・強化】**

**農林商工部 商工観光課**

# 冬季観光充実・強化事業について

## ■ 目的

- ・本市の課題である冬季観光の充実・強化を図る。
- ・**冬季の観光客数及び宿泊客数を増加させる。**
- ・年間を通じた安定した雇用の創出を図り、人口の維持、減少の緩和に資する。

## ■ 手段

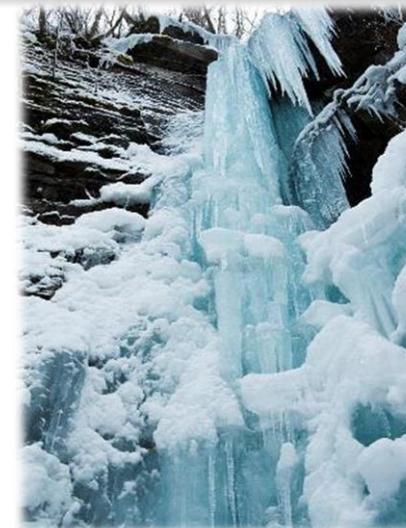
本市が有する自然の特徴を活かした観光メニューを創出する。

### 1. 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

奥入瀬溪流において**冬にしか見ることができない氷瀑**などの自然景観を**鑑賞できるツアー**を実施する。

### 2. 十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

**十和田湖温泉スキー場**を活用し、外国人観光客も**気軽に体験できる雪遊びの場**を整備する。



# 1. 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ■ 事業内容

奥入瀬溪流において、氷瀑・氷柱を始めとした冬にしか見ることのできない自然景観を、「奥入瀬溪流氷瀑ツアー」として観光客がバスに乗り気軽に楽しめるよう提供した。

### ① 冬の奥入瀬ネイチャーガイドツアー

冬の奥入瀬溪流の氷瀑や氷柱など、見所となる各ポイントや運行中の車内で奥入瀬溪流の自然等についてガイドが解説を行いながら巡るバスツアーを実施した。



# 1. 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ② 冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアー

冬の奥入瀬溪流をさらに魅力のある景観として演出するため、見所となる箇所をライトアップし、ガイドによる自然の解説を聞きながら冬の夜にしか見ることができない景色を鑑賞できるツアーとして実施した。

令和元年度は、(一社)十和田奥入瀬観光機構に運営を委託し、旅行会社等との連携を強化。

また、①インバウンド向けオンライン予約サイト (Voyagin)でのツアー販売、  
②奥入瀬珈琲などの特産品プレゼント、③プレミアム演出期間の設定を実施



# 1. 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ■ 事業実績（利用者数）

	①冬の奥入瀬ネイチャーガイドツアー (土日祝の日中)	②冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアー (毎日・ライトアップ)	③十和田湖冬物語日帰りバス (氷瀑ツアーの回送を活用)	合計
平成29年度	148人	966人	設定なし	1,114人
平成30年度	255人	1,147人	223人	1,625人
<u>令和元年度</u>	161人	664人	360人	 <u>1,185人</u>
増加率	▲36.8%	▲57.9%	161.4%	▲27.1%

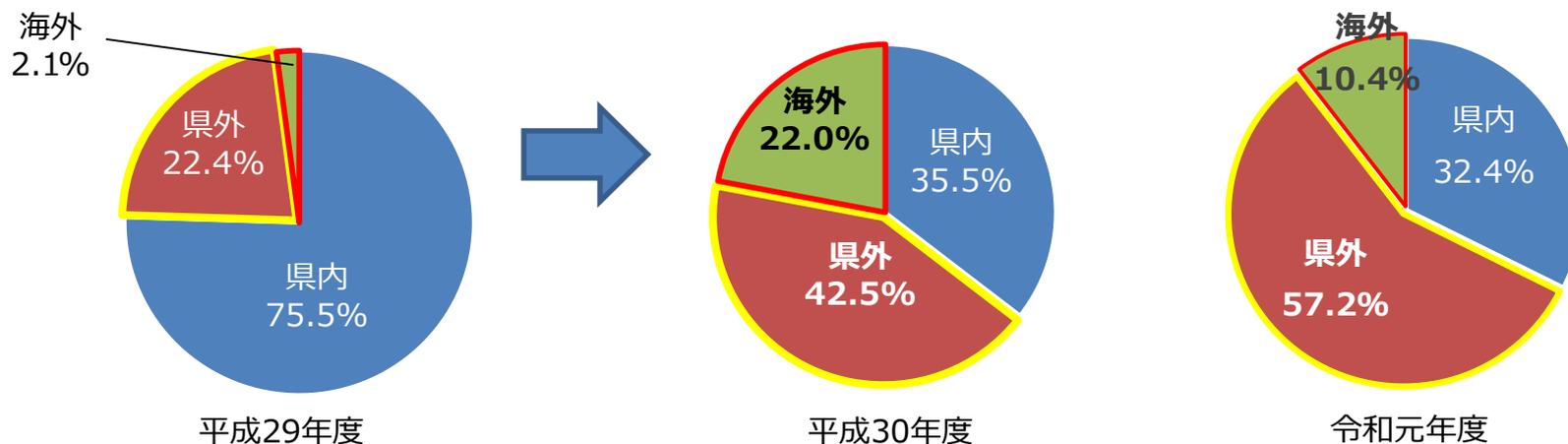
# 1.奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ■ 実績の分析 <①日数あたりの利用者数（ナイトツアー市街地発着分で比較）>

1月は前年度を上回る利用状況であったが、新型コロナウイルス感染症の影響の影響を受け、2月以降は利用者数が伸び悩んだ。

年度	1月	2月	3月
平成30年度	6.0人	17.9人	6.2人
令和元年度	<u>7.8人</u>	8.3人	2.7人

## ■ 実績の分析 (②ツアー参加者の居住地データ)



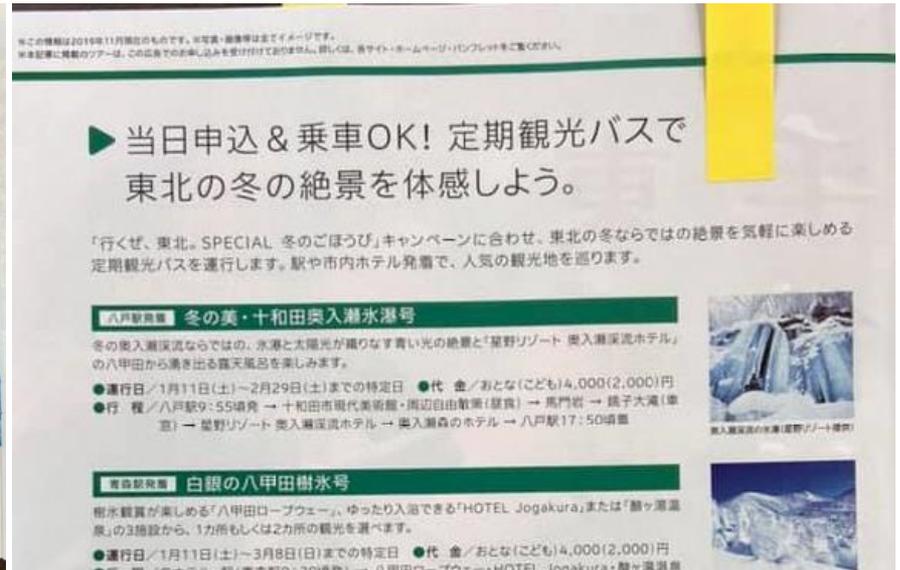
**県外・海外からのツアー参加者が増加 → 冬季宿泊客数増加に寄与**

# 1.奥入瀬渓流氷瀑ツアー

令和元年度からJR東日本やJTBなどの大手企業が奥入瀬の氷瀑を取り上げる旅行商品の販売を開始。平成29年度からの奥入瀬渓流氷瀑ツアーの実施により、冬の奥入瀬のコンテンツ化が図られていることの表れ。



JR東日本の車内誌「トランヴェール」での紹介記事



JR東日本が新たに造成したバスツアー「冬の美・十和田奥入瀬水瀑号」

# 1. 奥入瀬渓流氷瀑ツアー



JTBパンフレットでの商品紹介

JR東日本のテレビCM

Voyagin (アクティビティ予約サイト)

## 2. 十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

### ■ 事業内容

十和田湖温泉スキー場を活用して、スノーチューブやそり遊びなど観光客が気軽に雪を楽しむことができる「スノーパーク」を整備し、外国人観光客や子ども連れをターゲットとした新たな誘客促進策の一つとして冬季の観光コンテンツを創出した。

令和元年度は、2基目のスノーエスカレーターを整備し利用客の利便性向上を図るとともに、ラフティングボート等のアクティビティ用品を購入し、スノーパークとしての充実を図った。



スノーエスカレーター

## 2. 十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

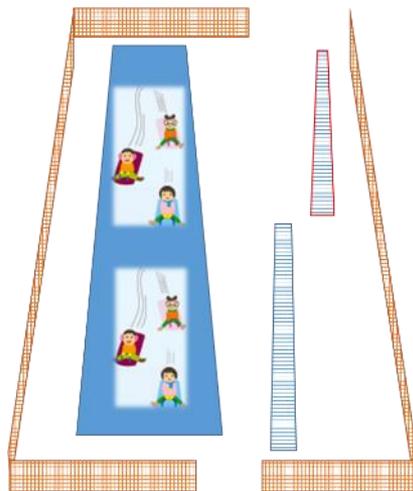


# 2.十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

## ①雪山エリア



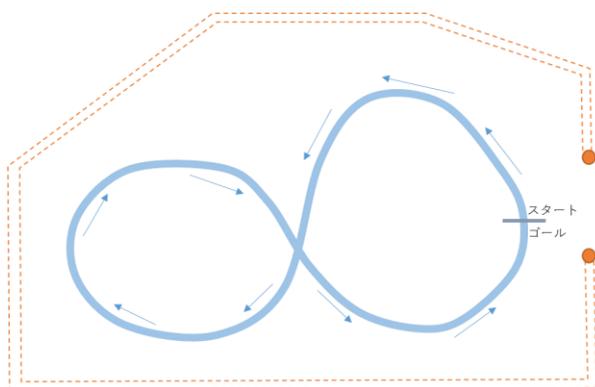
## ②滑走コース



令和元年度購入:スノースケート  
大人用4台、子ども用3台  
(それぞれヘルメット付き)

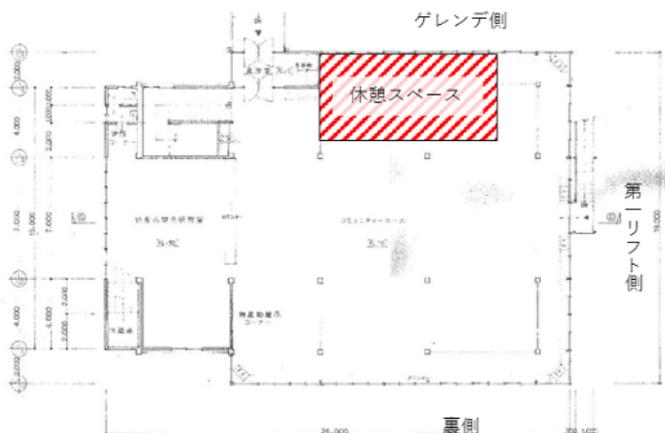
## 2.十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

### ③バナナボートエリア



R元年度購入:ラフティングボート1台

### ④専用休憩スペース



## 2. 十和田湖温泉スキー場 スノーアクティビティ充実事業

### 十和田湖温泉スキー場 スノーパーク位置図

- ゲレンデハウスを拠点に徒歩で利用しやすい位置に3種類のバリエーションのスノーパークを設置



## 2. 十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

### 「奥入瀬スノーパーク」オープン！

十和田湖温泉スキー場内に、雪遊びを体験できる「奥入瀬スノーパーク」がオープンしました。家族連れで楽しめる内容となっていますので、冬の楽しい思い出づくりにぜひ、お越しください。

とき 開設中～**3月下旬**

午前10時～午後2時30分

※積雪状況により開設できない場合があります。

ところ 十和田湖温泉スキー場ゲレンデハウス周辺  
(第一リフトを降りてすぐ)

料金 **1日遊び放題で2,000円**  
(第一リフト1回往復料金含む)

📍十和田湖温泉スキー場📍74 2008



#### ▲バナナボートエリア

スノーモービルに引かれるバナナボートやラフティングボートでスピードを体感できます。



▲スノーエスカレーター



#### ▲滑走エリア

急斜面をスノーチューブなどで勢いよく滑走することができます。スノーエスカレーターで上りも楽々です。



#### ◀雪山エリア

なだらかな雪山でそり滑りなどの雪遊びを楽しむことができます。  
小さな子どもでも安心して遊ぶことができます。



#### ◀専用ラウンジ

ゲレンデハウス内にスノーパーク利用者専用の休憩ラウンジを開設。温かい飲み物を無料で提供します。

## 2.十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

### ■ 事業実績

	開設期間	開設日数	利用者数
平成29年度	平成30年2月16日 ～3月21日	34日間	193人
平成30年度	平成31年1月3日 ～3月17日	74日間	819人
令和元年度	令和2年1月10日 ～3月15日	66日間	 <u>778人</u>
対前年度比	開設期間は積雪状況による		▲5.0%

### ■ 実績の分析 <開設日あたりの利用者数>

1月は前年度を上回る利用状況であったが、新型コロナウイルス感染症の影響の影響を受け、2月以降は利用者数が伸び悩んだ。

年度	1月	2月	3月
平成30年度	11.3人	15.2人	3.6人
令和元年度	<u>17.9人</u>	12.0人	2.3人

## 2.十和田湖温泉スキー場スノーアクティビティ充実事業

### ■（参考資料）スキー場利用者数及びリフト使用料収入

	利用者数	リフト使用料収入
平成27年度	12,525人	11,394千円
平成28年度	13,169人	11,999千円
平成29年度	10,034人	10,612千円
平成30年度	12,870人	13,707千円
令和元年度	14,403人	16,597千円

### ■（参考資料）市内小中学校によるスキー教室での利用

	学校数	利用者数
平成29年度	小学校 5 校（6 日間）	生徒184人、引率81人
平成30年度	小学校 5 校（6 日間）	生徒181人、引率83人
令和元年度	小学校 6 校、中学校 1 校（8 日間）	生徒210人、引率107人

# 冬季観光充実・強化事業 事業費実績

	内 訳	実績額 (千円)	内 容
奥入瀬溪流氷瀑ツアー企画・運営業務委託料	ツアー商品造成・実施業務	11,532	奥入瀬溪流氷瀑ツアーの催行（バス運行含む）、警備員による混雑期の交通誘導
	照明車両運行業務	6,421	照明車の運行、管理
	ガイド業務	1,638	地元ガイドによるツアーでの自然の解説
	プロモーション	671	写真撮影、ポスター送付等
	照明調整業務	4,400	ライトアップ照明の色彩プログラム調整等
小 計（氷瀑ツアー分）	A	24,662	
スノーパーク整備業務委託料	B	15,950	スノーエスカレーター、ラフティングボート、スノースクート（ヘルメット含む）
合 計	A+B	40,612	財源：企業版ふるさと納税寄附金 20,000千円 一般財源 20,612千円

# 成果指標及び達成状況

年度	KPI:十和田市冬季宿泊者数		
	目標値 (A)	実績値 (B)	達成率 (B/A)
平成28年度 (H28.12月～H29.3月)	—	44,529人泊	—
平成29年度 (H29.12月～H30.3月)	50,000人泊	60,833人泊	121.7%
平成30年度 (H30.12月～H31.3月)	55,000人泊	67,774人泊	123.2%
<b>令和元年度 (H31.12月～H31.3月)</b>	<b>60,000人泊</b>	<b><u>65,195人泊</u></b>	<b>108.7%</b>

※内閣府認定 地域再生計画報告値

# 波及効果

## (参考) 経済効果の試算

年度	宿泊者数の増加による旅行消費額の増額		
	冬季宿泊者数	増加数	旅行消費額 (=経済効果)
平成28年度 (H28.12月~H29.3月)	44,529人泊	—	
<b>令和元年度 (H31.12月~H31.3月)</b>	<b>65,195人泊</b>	<b>20,666人</b>	<b>6億2,930万円</b>

県外客の宿泊単価30,451円(※) × 20,666人 = 629,300,366円

※宿泊単価は平成30年青森県観光入込客統計による

# 関連事業【十和田湖インターシャトルバス】

年度	十和田湖インターシャトルバス			
	運行期間	便数 (片道)	利用者数	1便あたり 利用者数
平成28年度	2/3-2/26の毎日	46	62人	1.35
平成29年度	1/20・21・27・28 2/2-2/26の毎日	52	234人	4.50
平成30年度	12/15-1/27の土日祝日と年末 年始・2/1-2/26の毎日	74	133人	1.80
令和元年度	1/10-3/16の毎日	132	183人	1.39

# 関連事業【アーツ・トワダ ウインターイルミネーション】

年度	アーツ・トワダ ウインターイルミネーション			
	実施期間	実施日数	来場者数	1日あたり 来場者数
平成28年度	12/2-1/9	39日間	8,140人	208.7人
平成29年度	12/1-2/14	76日間	20,891人	274.9人
平成30年度	12/7-2/24	80日間	12,653人	158.1人
令和元年度	12/6-2/14	71日間	11,289人	159.0人

# 関連実績

(参考)

## ジェイアールバス冬のおいらせ号 (八戸駅~十和田湖) 冬季運行日数

年度	1月	2月	合計(対前年度増減数)
平成28年度 (H29.1・2月)	—	4日間	4日間
平成29年度 (H30.1・2月)	4日間	9日間	13日間(+9)
平成30年度 (H31.1・2月)	15日間	24日間	39日間(+30)
令和元年度 (R1.1・2月)	16日間	24日間	40日間(+1)